

自治
定住課

地域に関わる人を増やすには

第1回みんなつながる地域交流会

7月20日、庄原自治振興センター多目的ホールで「第1回みんなつながる地域交流会」を開催し、67人が参加しました。

この交流会は、市民が主役のまちづくりを進め、自治活動の推進や課題解決に取り組むことを目的に、市と庄原市自治振興区連合会が共同で開催しています。

当日は、島根県立大学地域政策学部准教授の田中輝美さんが「関係人口と地域づくり」をテーマに講演を行いました。田中さんは講演の中で、過疎地域の取り組み事例を紹介しながら「人口減少が進む中で、地域に関わる人（関係人口）と連携して地域づくりを考えることが大切」と話しました。

参加者からは「より多くの人に庄原市に関わってもらうことが大切だと感じた」という意見や「地域活動の進め方についてアドバイスをもらいたい」という質問がありました。

市は自治振興区と協力し、さまざまなまちづくり活動を行っています。7月18日には、22自治振興区の区長・会長が出席し、庄原市自治振興区連合会通常総会が開催されました。総会では、自治振興区相互の連携を強化することを確認し、本年度の事業計画や各自治振興区の取り組み状況など意見交換が行われました。



参加者で記念撮影（庄原市自治振興区連合会総会）



講演会の様子（みんなつながる地域交流会）

商工
観光課

光に包まれる帝釈峡

帝釈峡ライトアップイベント

佐々木リョウさんが熱唱
(クロージングイベント)

8月4日～20日に、帝釈峡の永明寺周辺で「帝釈峡ライトアップイベント」を開催しました。

このライトアップは、名勝・国定公園帝釈峡記念事業の一つとして、夏休み期間中、多くの人に帝釈峡を訪れてもらいたいとの思いから開催しました。

ライトアップの初日と最終日には、それぞれ「オープニングイベント」「クロージングイベント」を行いました。

4日のオープニングイベントには、木山耕三市長、入江嘉則神石高原町長、庄原市ふるさと大使の西田篤史さん、庄原市ジビエ大使の松本裕見子さんによるトークショーも行い、4人の軽快なトークで会場には笑顔が溢れました。

また、書道家の坂口赤道さんによる書道パフォーマンスや、佐々木リョウさんのライブなど、さまざまなステージイベントを行ったほか、多くのバザーが出版され食べ物の販売などを行いました。

会場を訪れた人は「雄大な自然のライトアップは、幻想的な雰囲気だった。期間中、何度か訪れたい」と話しました。

名勝・国定公園帝釈峡記念事業

「帝釈峡マラニック大会」参加者募集中！

とき 11月26日(日)

拠点会場 帝釈峡スコラ高原
(受け付け・スタート・ゴール)

ロングコースの部 (65km)

【定員】200人 【参加費】1万2千円

ショートコースの部

①雄橋コース (12km)
②神龍湖コース (9km)

【定員】各150人

【参加費】4千円

参加申し込み

【申込期限】10月22日(日)

【申し込み方法】

①「RUNNET」から申し込み
②申込書をいちばんづくり課へ提出

問い合わせ・申し込み 帝釈峡マラニック大会実行委員会事務局 (いちばんづくり課 ☎ 0824-73-1278)